

令和7年 電気学会 全国大会

一般聴講
無料

電気学会が取り組むべき課題
～材料・デバイス・システム技術を統合し
エネルギー問題を解決する～

日時：2025年3月18日（火）13:00～17:45

場所：明治大学 中野キャンパス 5Fホール

主催：一般社団法人電気学会

電気学会は、エネルギー問題の解決、とりわけ2050年カーボンニュートラル達成に貢献するために、講師と聴衆が共に考える機会を設けることを目的として、シンポジウムを開催します。

電気学会がカバーする学問領域は広く、基礎・材料、電力・エネルギー、電子・情報・システム、センサ・マイクロマシンなどが挙げられます。産学の会員が連携し、産業応用に繋がる研究も活発に行われています。これらの学問領域は、電気学会のA～Eの各部門に相当しますが、エネルギー問題を解決するためには、これら5部門で扱う技術のすべてが必要となります。加えて、個別技術の融合や学際的な知見も求められる場合があります。また、国内の一次エネルギーに占める電力の比率は50%に達しておらず、電気エネルギー以外のエネルギーとの関わりを深めることも重要です。そのため、熱・化学エネルギーに関する第一線の研究者（非会員）も講師として招待しました。さらに、創エネ・省エネ・蓄エネに加え、エネルギー輸送やエネルギーマネジメント（スマートグリッドなど）に関する技術課題を総合的に解決する必要があります。

今回のシンポジウムでは、エネルギーに関する要素技術を専門とする講師だけでなく、技術的な観点からエネルギー問題を俯瞰的に論じることができる講師も招待しました。これらの講演内容の一部には、電気学会がカバーしていない領域も含まれているため、講師の一部は非会員です。なお、講師の選定に際しては、大学、企業、研究機関などから偏りなく選出しました。また、講演終了後には、各部門から選出した若手会員をパネリストとし、エネルギー問題の解決に向けて電気学会として取り組むべき研究課題について、パネルディスカッションを行います。

- ・開会挨拶 佐藤 純正 電気学会副会長(研究調査)
- ・趣旨説明 増田 淳 (新潟大学)

【第1部】シンポジウム講演

- ・気候変動の自然科学的理解 小坂 優 (東京大学)
- ・建材一体型ペロブスカイト太陽電池の開発 内田 隆介 (パナソニックホールディングス株式会社)
- ・材料・デバイス系の講演 パワー半導体 須田 淳 (名古屋大学)
- ・カーボンニュートラルの取組みと循環型社会へのチャレンジ 岸本 岳志(トヨタ自動車株式会社)
- ・ワット・ビット連携: Society 5.0の中核を担う神経・血管ワイヤリング 岡本 浩 (東京電力パワーグリッド株式会社)

【第2部】パネルディスカッション(80分)

- モデレータ : 増田 淳 (新潟大学)
- パネリスト(A部門) : 梅本 貴弘 (東京大学)
- パネリスト(B部門) : 中村 勇太 (名古屋工業大学)
- パネリスト(C部門) : 桐淵 大貴 (株式会社東芝)
- パネリスト(D部門) : 小原 秀嶺 (横浜国立大学)
- パネリスト(E部門) : 山根 大輔 (立命館大学)
- パネリスト(講師代表): 岡本 浩 (東京電力パワーグリッド株式会社)

【事前申込不要】

詳細は、電気学会ホームページをご確認ください。
大会HP https://www.iee.jp/blog/taikai2025_h1_symp/



※講演内容は予定であり、詳細は今後変更となる可能性があります
※最新情報は電気学会ホームページをご覧ください